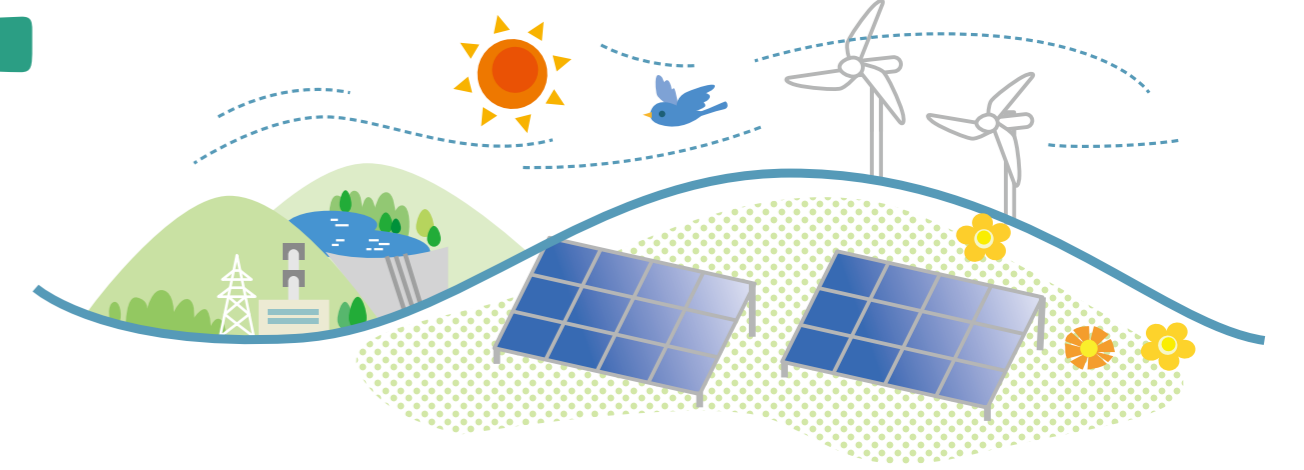


CO₂を 出さないエネルギー



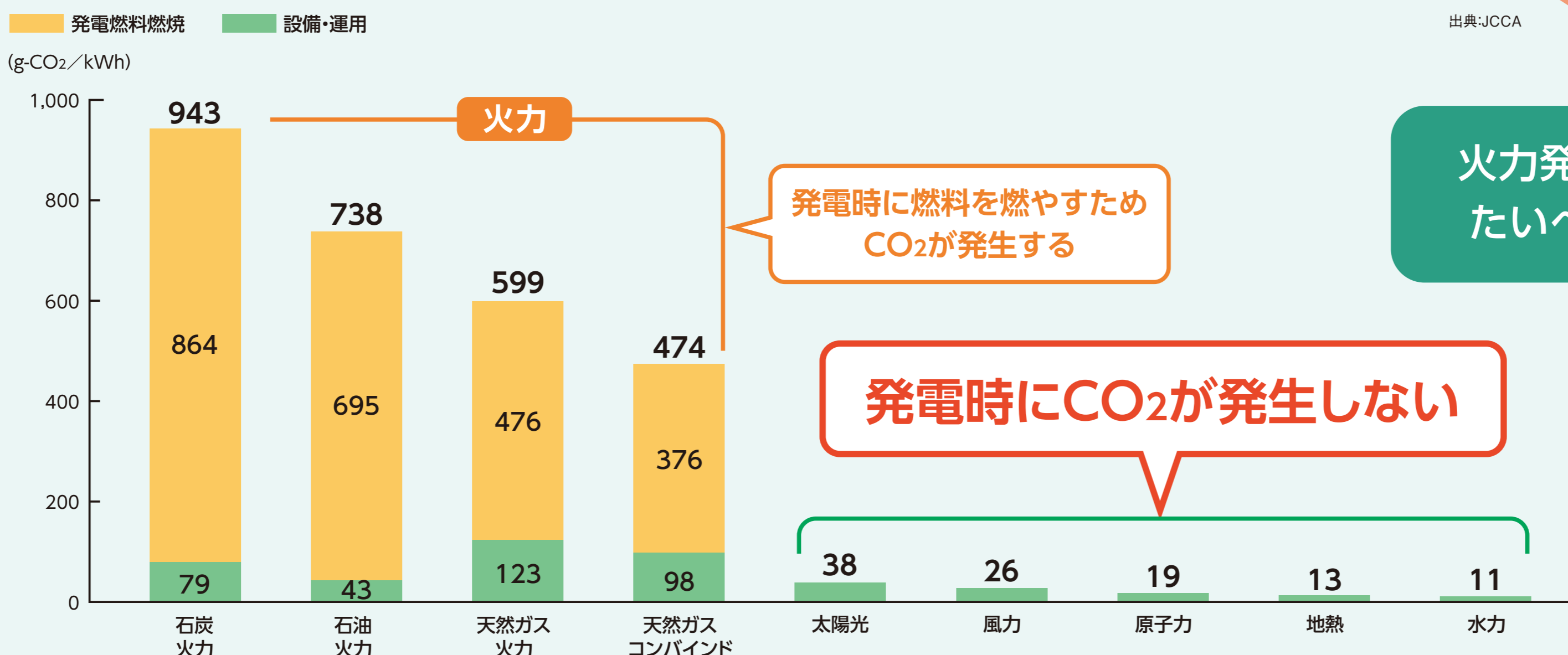
CO₂を出さない発電方法

日本で排出されるCO₂のうち、約40%は発電によるものです。将来にわたって自然環境を守るためには、できるだけCO₂の排出量が少ない発電方法を取り入れる必要があります。太陽光・風力・水力・地熱などを利用する再生可能エネルギーや原子力発電は発電時にCO₂を排出しません。

将来的にはさらなる再生可能エネルギーの導入促進や水素エネルギーの活用、CO₂回収・リサイクルなどの技術革新が求められています。

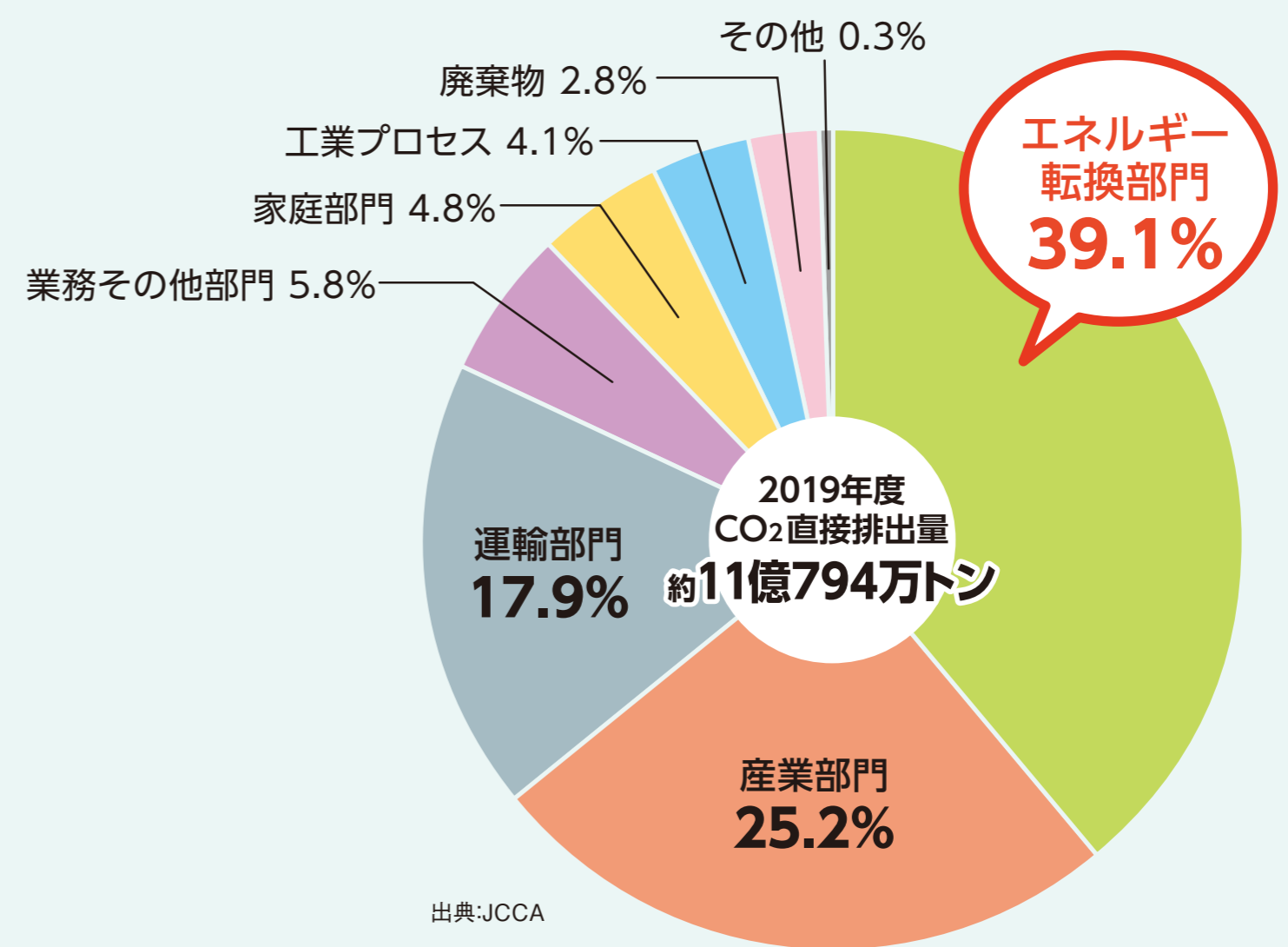
各電源のCO₂排出量※

※発電燃料の燃焼に加え、原料の採掘から発電設備等の建設・燃料輸送・精製・運用・保守等のために消費されるすべてのエネルギーを対象としてCO₂排出量を算出しています

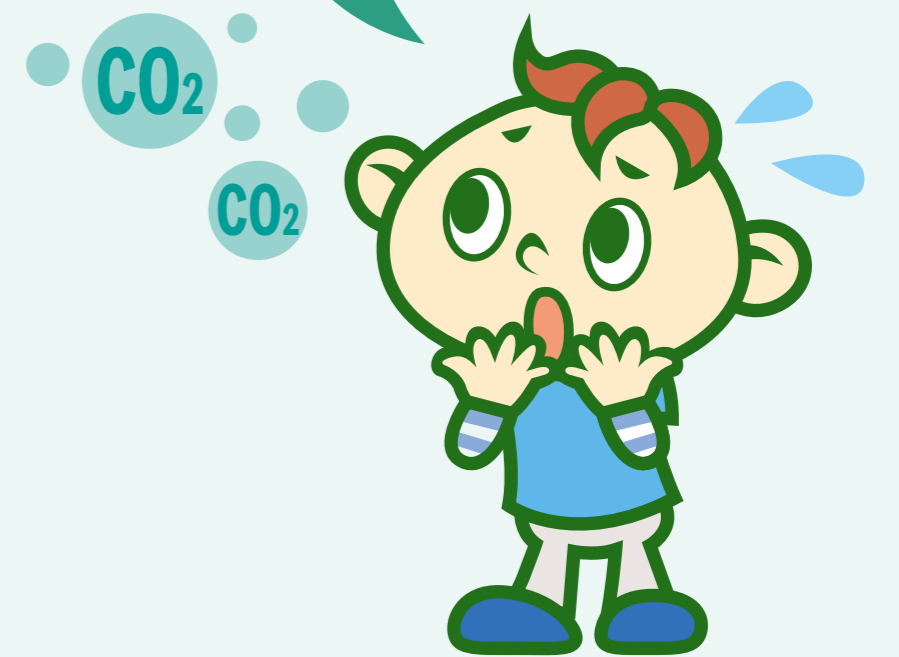


出典:『原子力・エネルギー図面集』をもとに作成

日本の部門別CO₂排出量の割合



火力発電に頼ってばかりでは
たいへんなことになりそう。



Column

カーボンニュートラルとは?

カーボンニュートラルとは「温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする」ことです。

ここでいう「全体としてゼロにする」とは、CO₂だけでなくメタンなどすべての温室効果ガスの排出量から、森林などによる吸収量を差し引いた、実質ゼロを意味しています。日本は、「2050年までにカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現をめざす」と宣言しています。実現のためには、今後も排出する温室効果ガスの削減に向けた努力を続けることが必要です。

